

資料

No. 7

行政刷新会議「提言型政策仕分け」
評価結果について

行政刷新会議「提言型政策仕分け」評価結果

(平成23年11月23日)

ワーキンググループB

B5-7

社会保障：雇用（雇用政策の効果の検証、雇用保険の運営等）

（論点①）雇用対策の効果の検証はどうすべきか。

（論点②）日本の雇用の課題・問題の要因とその解決策をどう考えるか。

（論点③）雇用保険の現状と今後のあり方をどう考えるか。

とりまとめ（提言）

これまでの雇用対策については、その効果が十分に発揮されておらず、その検証も不十分であった。今後は、経済対策によるものも含め、毎年度全ての施策の効果検証を定量的に実施し、予算に厳格に反映させること。加えて、既存事業の大胆な統廃合や、能力開発事業とハローワークとの一層の連携強化を図るなど、現に就職につながる改善を行う。非正規労働者の増加や新卒者の就職難などの構造的な課題への対応については、制度的な改革にも取り組むべき。

雇用保険積立金については、平成23年度末見込みで約4兆円の水準となっており、雇用保険制度の持続可能性に配慮しつつ、受益者負担の軽減の観点から、雇用保険料の一定の引下げを含む負担と受益（事業）の関係の見直しを検討すること。